



# ユーザーガイド

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

#### **製品についての注意事項**

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新のユーザーガイドについては、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

初版：2017年7月

製品番号：928781-291

## このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、および技術仕様について説明します。

- 
- ⚠ **警告**：回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - ⚠ **注意**：回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - 📄 **重要**：重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
  - 📖 **注記**：本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
  - 💡 **ヒント**：タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
- 

**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。



# 目次

<b>1 お使いになる前に</b> .....	<b>1</b>
安全に関する重要な情報 .....	1
製品の特長および各部 .....	2
特長 .....	2
背面および側面の各部 .....	3
モニターの設定 .....	5
モニター スタンドの取り付け .....	5
ケーブルの接続 .....	6
USB デバイスの接続 .....	9
モニターの調整 .....	10
モニターの電源投入 .....	12
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー .....	12
モニター スタンドの取り外し .....	13
モニター本体の取り付け .....	14
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け .....	15
<b>2 モニターの使用</b> .....	<b>16</b>
ソフトウェアおよびユーティリティ .....	16
情報ファイル .....	16
Image Color Matching ファイル .....	16
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用 .....	16
機能ボタンの割り当て .....	17
高速応答時間の選択 .....	18
低ブルー ライト モードの選択 .....	18
PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用 .....	19
DisplayPort マルチストリーム .....	19
自動スリープ モードの使用 .....	20
<b>3 サポートおよびトラブルシューティング</b> .....	<b>21</b>
一般的なトラブルの解決方法 .....	21
ボタンのロックアウト .....	22
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	22
お問い合わせになる前に .....	22
シリアル番号と製品番号の位置 .....	22

<b>4 モニターの保守</b> .....	<b>23</b>
保守に関するガイドライン .....	23
モニターの清掃 .....	23
モニターの運搬 .....	24
<b>付録 A 技術仕様</b> .....	<b>25</b>
24 インチ（対角長 61.1 cm）モデル .....	25
27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル .....	26
プリセットディスプレイ解像度 .....	27
24 インチ（対角長 61.1 cm）モデル .....	27
27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル .....	27
ユーザー モードの使用 .....	28
省電力機能 .....	28
<b>付録 B ユーザー サポート</b> .....	<b>29</b>
サポートされている支援技術 .....	29
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	29

# 1 お使いになる前に

## 安全に関する重要な情報

外部電源アダプターおよびコードがモニターに付属している場合があります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについては、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、CD/DVD-ROM/ブルーレイまたはドキュメントキットに収録されています。

**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 電源コードに3ピンのアタッチメントプラグがある場合は、コードを3ピンのアース（接地）された電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

**📄 重要：**モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いのHP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ **警告！**化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。

📖 **注記：**この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。

## 製品の特長および各部

### 特長

このガイドでは、以下のモニターの特長について説明します。

- 1920×1200 以下の解像度をサポートする、24 インチ（対角長 61.1 cm）の表示画面領域
- 2560×1440 以下の解像度をサポートする、27 インチ（対角長 68.5 cm）の表示画面領域

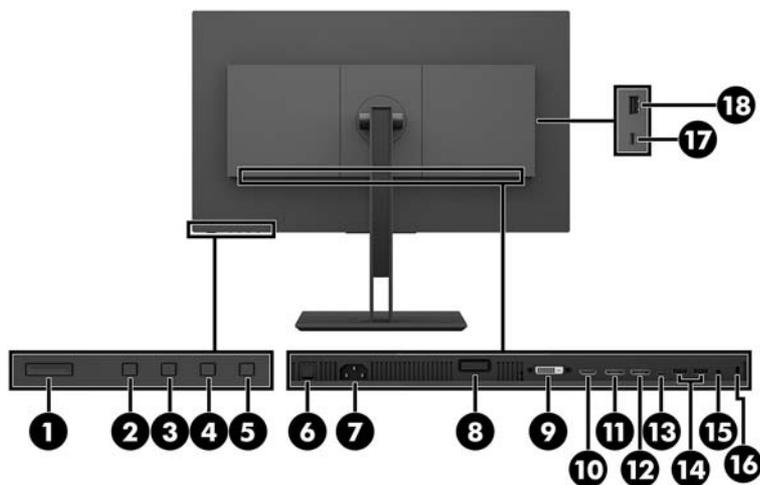
このモニターの特長は以下のとおりです。

- LED バックライト付きノングレア パネル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度、ディスプレイの向き、回転角度、および高さ調整機能
- モニター本体を固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド
- 別売の HP Desktop Mini、Chromebox、Thin Client 用マウントキットをサポート
- 別売の HP スピーカー バーをサポート
- オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ
- DisplayPort ビデオ入力×1、DisplayPort ビデオ出力×1
- HDMI（High-definition Multimedia Interface）ビデオ入力
- DVI ビデオ入力
- USB Type-C 入力（アップストリーム）ポート×1、USB Type-C 出力（ダウンストリーム）ポート×1
- DisplayPort および USB Type-C の各ケーブルが付属
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- プラグアンドプレイ機能（お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合）

- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ソフトウェア
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

 **注記：**安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

## 背面および側面の各部



名称	説明
(1) 電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます
(2) Back/Exit (戻る/終了) ボタン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが開いているときに押すと、前に戻ったり OSD を終了したりします  OSD メニューが開いているときに押すと、次のアクティブな入力に切り替わります
(3) + (プラス) ボタン	OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます  OSD メニューが開いているときに押すと、[表示モード]メニューが開きます
(4) - (マイナス) ボタン	OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます  OSD メニューが開いているときに押すと、[Color] (カラー) メニューが開きます
(5) メニュー ボタン	ボタンを押すと、OSD メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりできます
(6) 主電源スイッチ	モニターのすべての電源をオフにします  モニターを使用していないときにこのスイッチをオフの位置にすると、モニターの消費電力が最も低い状態になります

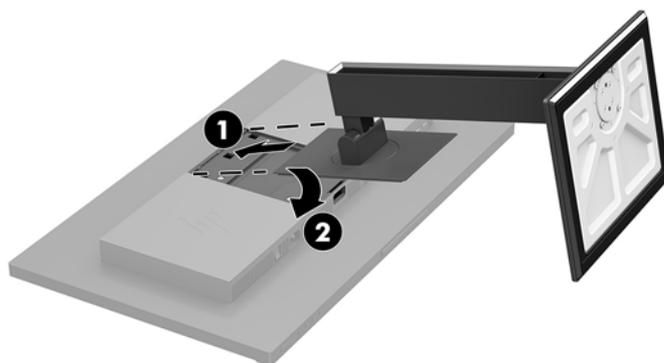
名称	説明
(7) 電源コネクタ	外部電源コードをモニターに接続します
(8) モニター リリース ボタン	モニター本体からモニター スタンドを外します
(9) DVI コネクタ	DVI ケーブルを入力デバイスに接続します
(10) HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
(11) DisplayPort 入力端子	DisplayPort ケーブルを入力デバイスに接続します
(12) DisplayPort 出力端子	DisplayPort ケーブルを 2 番目のモニターに接続します
(13) USB Type-C ポート	USB Type-C ケーブルを入力デバイスに接続します <b>注記</b> : USB Type-C ポートは、ビデオ ソースおよび USB ハブとして機能します
(14) USB 3.0 Type-A ポート (*2)	USB Type-A デバイスを接続します
(15) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	ヘッドフォンをモニターに接続します <b>警告</b> ! 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量を下げてからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『Product Notices』(製品に関するご注意)を参照してください。このドキュメントは、オプティカルディスク(製品に付属している場合)に収録されています
(16) セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルを接続します
(17) USB Type-C ダウンストリーム ポート	USB Type-C デバイスを接続します
(18) USB 3.0 Type-A ポート	USB Type-A デバイスを接続します

# モニターの設置

## モニター スタンドの取り付け

 **重要** : LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

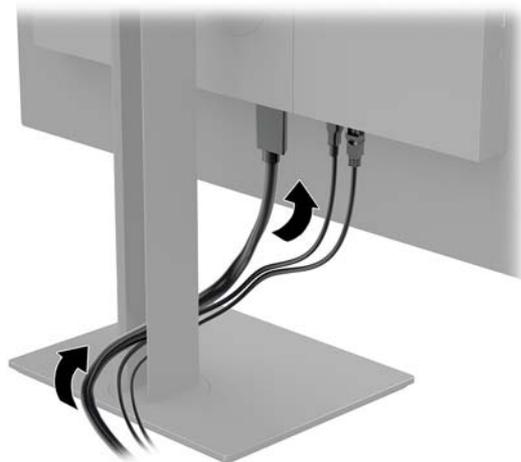
1. モニターの前面を下向きにして、柔らかい清潔な布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドのマウントキットの上部にあるタブをモニター本体のスロットに差し込み (1)、マウントキットの下側を下に押し下ろします (2)。スタンドがスロットに正しく固定されると、カチッという音がします。お使いになる前に、スタンドがモニター本体に正しく固定されていることを確認してください。



## ケーブルの接続

 **注記**：モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. モニターを、コンピューターの近くの、作業がしやすく通気の良い安定した場所に置きます。
2. ケーブルを接続する前に、ケーブルをスタンド中央のケーブル配線穴に通しておきます。

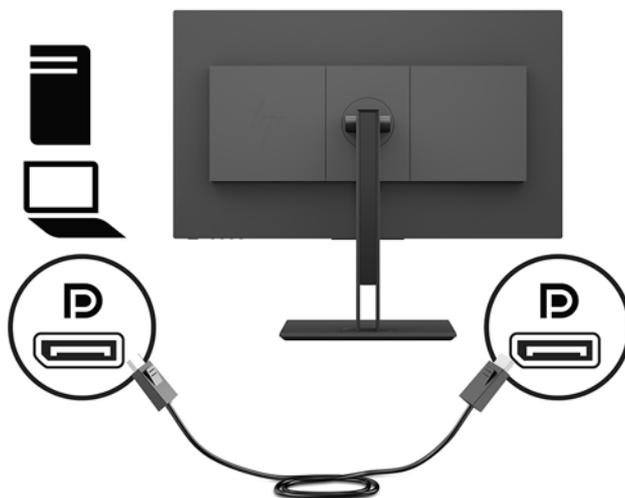


3. ビデオケーブルを接続します。

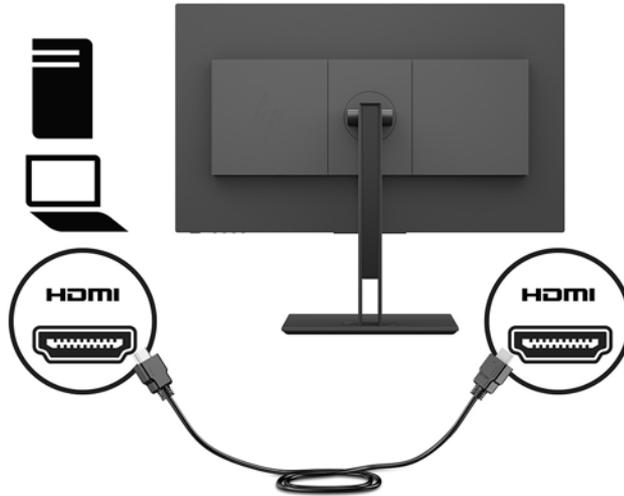
 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、**メニュー** ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスし、**[入力コントロール]**を選択します。

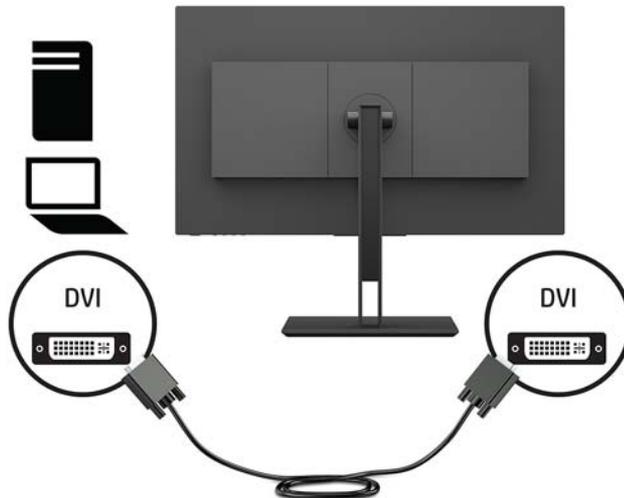
- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort 出力端子に接続します。



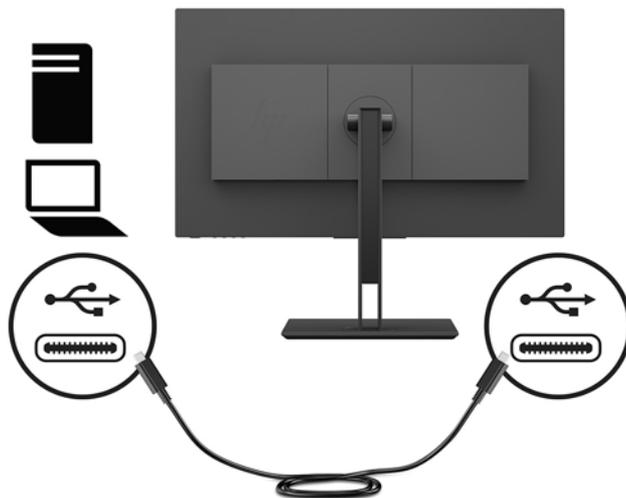
- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。



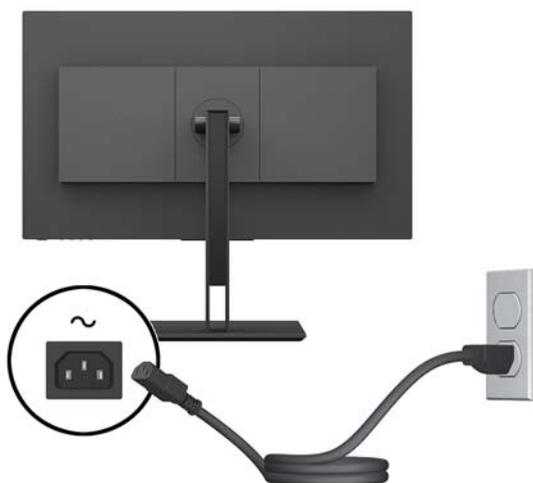
- DVI ケーブルの一方の端をモニターの背面の DVI コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの DVI コネクタに接続します。



- USB Type-C ケーブルの一方の端をモニターの背面の USB Type-C ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB Type-C ポートに接続します。最大 5 ギガビット/秒の速度でデータを転送します。



4. 電源コードの一方の端をモニターの背面の外部電源コネクタに接続して、もう一方の端をアース（接地）された電源コンセントに差し込みます。



**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

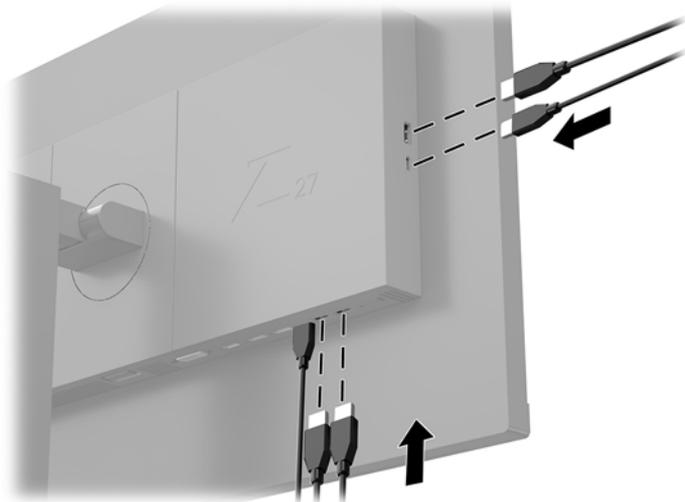
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

## USB デバイスの接続

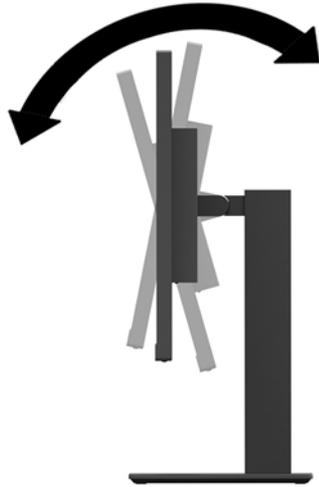
モニターの背面には1つのUSB Type-C アップストリーム ポートが装備されています。モニターの背面には2つのUSB Type-A ダウンストリーム ポート、モニターの側面には1つのUSB Type-A ダウンストリームポートが装備されています。また、モニターの側面には1つのUSB Type-C ダウンストリームポートも装備されています。

 **注記** : モニターの USB ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB Type-C アップストリームケーブルを入力デバイスからモニターの背面に接続する必要があります。

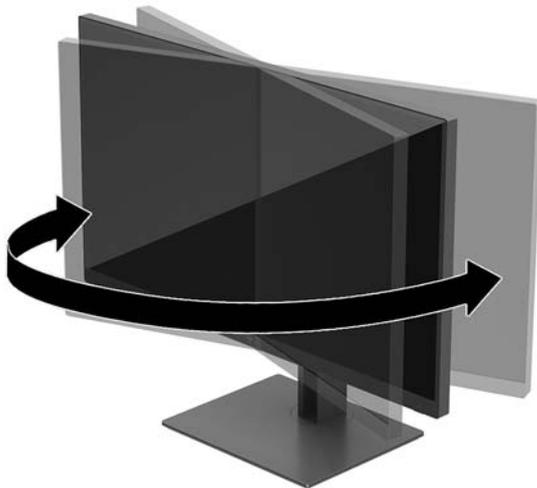


## モニターの調整

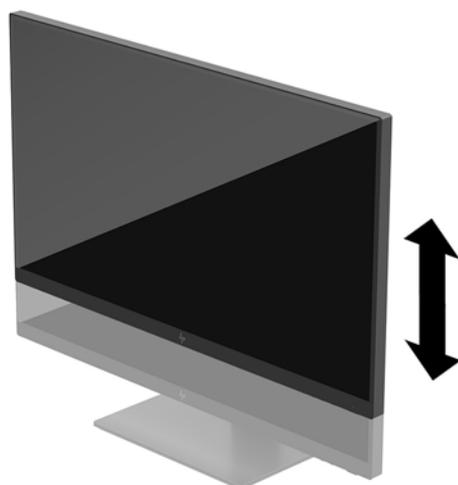
1. モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. モニター本体を左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。

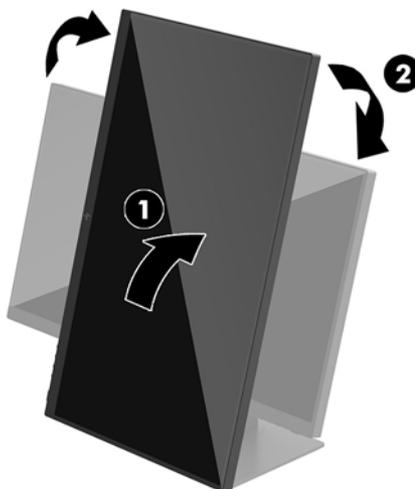


3. モニター本体を上下に調整して、見やすい位置に設定します。



4. 必要に応じて、モニターの表示方向を横向きから縦向きに回転できます。
- モニターが最も高い位置になるように調整してから、完全に後方に傾いた位置まで傾斜角度を調整します (1)。
  - モニターを時計回り (または反時計回り) に 90°回転させて、横向きから縦向きに変更します (2)。

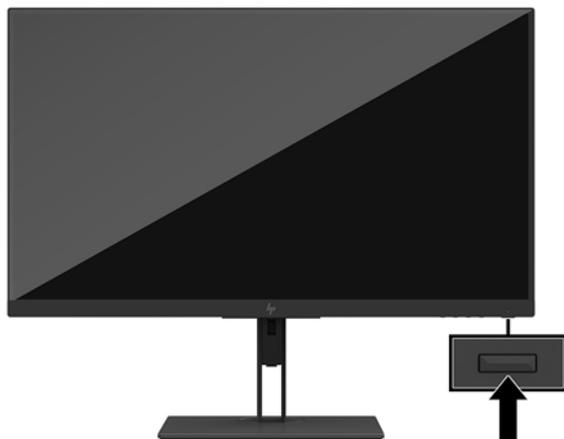
 **重要** : 回転させるとき、モニターが最も高い位置で完全に後ろに傾斜していないと、モニターパネルの右下隅がスタンドに接触するため、モニターが損傷するおそれがあります。



 **注記** : モニターを回転すると、画像が自動的に回転します。オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを回転するには、**メニュー** ボタンを押して OSD を表示し、**【メニューコントロール】** を選択します。**【メニューの回転】** を選択し、アプリケーションに適した向きを選択します。

## モニターの電源投入

1. モニターの背面にある主電源スイッチをオンの位置に設定します
2. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
3. モニター底面の電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



**重要：**モニターを使用しない状態が 12 時間以上経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります。一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

**注記：**電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

**注記：**電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。メニューボタンを押して OSD を表示し、【電力コントロール】を選択します。【電源ランプ】→【オフ】の順に選択します。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

## しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

IPS モニターモデルは、超広視野角および高画質を実現する IPS (In-Plane Switching) ディスプレイ技術を使用して設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、動きのない固定された静止画像をスクリーンセーバーを使用しないで長時間表示するような用途には適していません。このような用途としては、たとえば、監視カメラ映像、ビデオゲーム、商品ロゴ、テンプレートなどを長時間表示する場合などがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

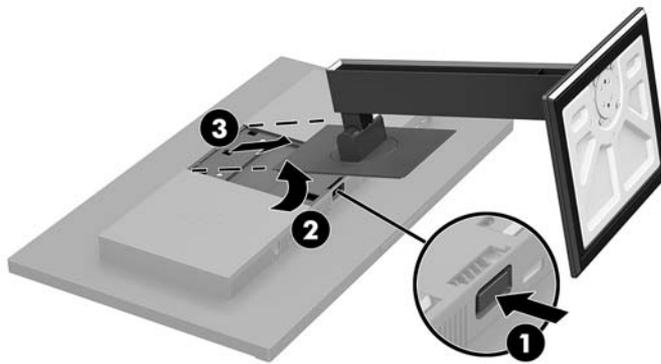
モニター画面への画像の焼き付きの原因となるような 1 日 24 時間の使用は、HP の保証の対象外です。画像の焼き付きが発生しないようにするには、モニターを使用しないときは常にモニターの電源を切断するか、電源管理設定を使用して、システムがアイドル状態になるとモニターの電源が切断されるようにします (システムでサポートされている場合)。

## モニター スタンドの取り外し

モニター本体からスタンドを取り外して、モニター本体を壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます。

 **重要**：モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、柔らかい清潔な布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. モニター本体の背面にあるリリースボタンを押し（1）、スタンドの底面を持ち上げて（2）、スタンドを後ろにスライドさせて（3）取り外します。



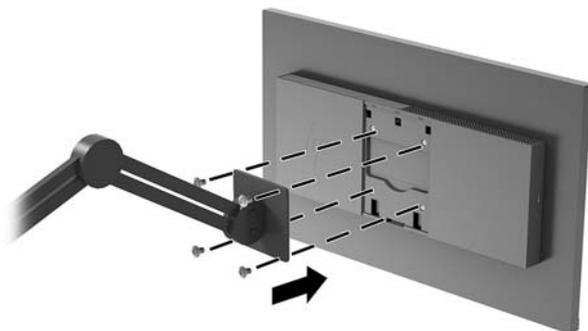
## モニター本体の取り付け

モニター本体は、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記**：この装置は、UL または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

 **重要**：この VESA 準拠の取り付けキットは、VESA 準拠の 10 cm 間隔の取り付け穴をサポートします。VESA 準拠の取り付けキットに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチ、長さ 10 mm のネジを 4 本使用してください。これより長いネジは、モニターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付けの固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

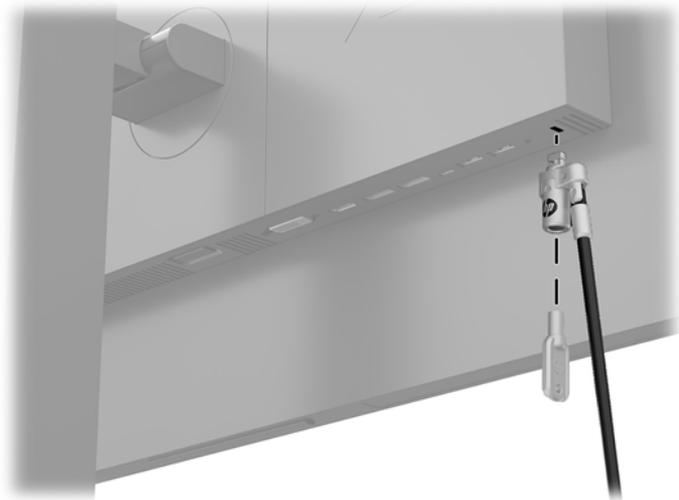
1. モニタースタンドがモニター本体に取り付けられている場合は、モニタースタンドを取り外します。詳しくは、[13 ページのモニタースタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. モニター本体をスイングアームまたはその他の取り付け器具に取り付けるには、4 本の取り付けネジを、取り付け器具にある穴に通してから、モニター本体の VESA 準拠のネジ穴に差し込みます。



 **重要**：モニターを壁面またはスイングアームに取り付けるときは、取り付け器具の製造元の説明書に沿って作業をしてください。

## セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

別売のセキュリティ ロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。



## 2 モニターの使用

### ソフトウェアおよびユーティリティ

HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> から次のファイルをダウンロードして、お使いのコンピューターにインストールできます。

- INF（情報）ファイル
- ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）
- ユーザーガイド

### 情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

### Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

### オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じて画面表示を調整します。モニター底面にあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

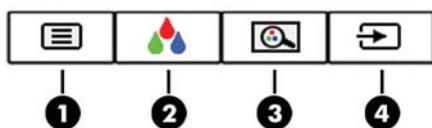
1. モニターの電源が入っていない場合は、**電源**ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、モニターの底面にある**メニュー**ボタンを押します。
3. OSD メニュー内を移動するには、モニターの底面にある **+**（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、**-**（マイナス）ボタンを押して下にスクロールします。
4. OSD メニューから項目を選択するには、**+**ボタンか **-**ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、**メニュー**ボタンを押して機能を選択します。

5. + ボタンまたは - ボタンを押してスケールを調整します。
6. 機能を調整したら、**[OK]**を選択して設定を保存し、メインメニューから**[Exit]**（終了）を選択します。

メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します
コントラスト	画面のコントラストを調整します
カラーコントロール	画面の色および表示モードを選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号（DisplayPort、DVI、HDMI、または USB Type-C）を選択します
イメージコントロール	画像および応答時間を調整します
PIP コントロール	PIP 画像を選択および調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD コントロールを調整します
管理	すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻し、OSD メニューを表示する言語を選択します
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

## 機能ボタンの割り当て

オンスクリーンディスプレイ（OSD）パネルにある4つの機能ボタンのどれかを押すと、ボタンが有効になり、ボタンの上にアイコンが表示されます。初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下に示します。



ボタン	機能
1 メニュー	OSD メインメニューを開きます
2 カラーコントロール (機能ボタン3: 割り当て可能)	[Color] (カラー) メニューが表示されます
3 表示モード (機能ボタン2: 割り当て可能)	[表示モード]メニューが表示されます
4 次のアクティブな入力 (機能ボタン1: 割り当て可能)	モニターの入力ソースが次のアクティブな入力に切り替わります

機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

機能ボタンを割り当てるには、以下の操作を行います。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開きます。
2. OSD メニューで、**[メニューコントロール]**→**[ボタンの割り当て]**の順に選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

 **注記:** 割り当てることができる機能ボタンは3つのみです。**メニュー** ボタンおよび**電源** ボタンは割り当てなおすことができません。

## 高速応答時間の選択

1. **メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
2. OSD メニューで、**[イメージコントロール]**→**[応答時間]**の順に選択します。
3. **[応答時間]**メニューから、以下のどれかのレベルを選択します。

レベル 1 (初期設定)

レベル 2 (高速)

レベル 3

レベル 4

レベル 5 (最速)

 **注記:** 応答時間は 14.0 ミリ秒に初期設定されています。ディスプレイメニューで応答時間を 5.4 ミリ秒まで速く設定できます。すべての動作仕様は、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります

## 低ブルーライトモードの選択

モニターのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。HP モニターにはブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを見るときに刺激を低減するための設定が用意されています。見やすくなるようにモニターのライトを調整するには、以下の操作を行います。

1. モニター底面のオンスクリーンディスプレイ (OSD) パネルにある4つのボタンのどれかを押して、画面に OSD アイコンを表示します。
2. **表示モード** ボタンを押して**[表示モード]**メニューを開くか、**メニュー** ボタンを押して、**[カラーコントロール]**→**[表示モード]**の順に選択します。
3. 以下の設定のどれかを選択します。
  - **[低ブルーライト]** (TUV 認証済み) : ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます
  - **[読書]** : ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します
  - **[夜間]** : ブルーライトの発光が最も少なくなるようモニターを調整します

 **警告!** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から**[日本語]**を選択することで表示できます。

## PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用

このモニターは、1つのソースをもう1つのソースに重ねて表示する PIP と、1つのソースともう1つのソースを水平（横向きの場合）または垂直（縦向きの場合）に並べて表示する PBP の両方をサポートしています。

 **注記** : PIP または PBP を使用するために、HDMI 入力および USB-C 入力を同時に使用することはサポートされていません。

PIP または PBP を使用するには、以下の操作を行います。

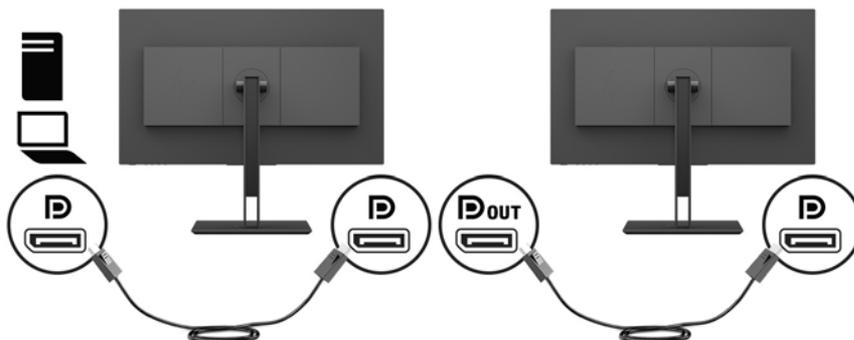
1. 2 番目の入力デバイスをモニターに接続します。
2. **メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
3. OSD メニューで、**[PIP を有効にする]**を選択し、**[PIP (Picture-in-Picture)]**または**[2×1、2 分割 (PBP)]**を選択します。
4. モニターは 2 番目の入力をスキャンして有効な入力を検出し、その入力を使用して PIP または PBP 画像を表示します。PIP または PBP 入力を変更する場合は、OSD メニューで**[入力の割り当て]**を選択し、目的の入力デバイスを選択します。
5. PIP のサイズを変更する場合は、OSD メニューで**[PIP のサイズ]**を選択し、目的のサイズを選択します。
6. PIP の位置を調整する場合は、OSD メニューで、**[PIP の位置]**を選択し、目的の位置を選択します。

## DisplayPort マルチストリーム

DisplayPort をメインのビデオ入力ソースとして使用している場合は、デジチェーン構成で接続されている他の DisplayPort モニターにマルチストリーム出力できます。この構成で最大 4 台のモニターを接続できます（グラフィックスカードでサポートされる場合）。

DisplayPort マルチストリームを使用するには、以下の操作を行います。

1. DisplayPort がメインのビデオ入力に使用されていることを確認します。
2. DisplayPort ケーブルをメイン モニターの DisplayPort 出力端子に接続してから、マルチストリーム用またはマルチストリーム用ではない 2 番目のモニターの DisplayPort 入力端子に接続して、2 番目のモニターを追加します。



3. 接続したモニターにメインモニターと同じ画像または異なる画像が表示されるように、接続したモニターを設定します。接続したモニターのオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで、**[入力コントロール]**→**[DisplayPort Mode]**（DisplayPort モード）の順に選択し、以下のどちらかを選択します。
  - a. **[DisplayPort 1.1]**：ダウンストリームポートに接続したすべての設定中のモニターに同じビデオ画像を送信できます。
  - b. **[DisplayPort 1.2]**（初期設定）：ダウンストリームポートに接続したすべての設定中のモニターに異なるビデオ画像を送信できます。
4. OSD で DisplayPort モードを設定したら、コンピューターのオペレーティングシステムのディスプレイ設定を使用して 2 番目のモニターの表示モードを設定し、メインモニターの画像を複製して表示するか、2 番目のモニターを拡張してメインモニターと異なる画像を表示するようにします。

ダウンストリームポートにモニターを追加する場合は（最大 4 つ）、最後に接続されるモニターを除くすべてのモニターが DisplayPort マルチストリームをサポートしている必要があります。

1 つのモニターの DisplayPort 出力とその次のモニターの DisplayPort 入力を接続する作業を、目的の数のモニターが接続されるまで繰り返します。

各モニターに異なる情報が表示されるようにするには、アップストリームポートに接続されたすべてのモニターを上記の[DisplayPort 1.2]モードに設定してください。

DisplayPort マルチストリームを使用して接続できるモニターの数は、各モニターの解像度と走査速度や、GPU または内蔵のグラフィックスシステムの機能など、さまざまな要因によって異なります。グラフィックスカードの機能については詳しくは、グラフィックスカードに付属の説明書を参照してください。

解像度	マルチストリームの最大表示数
1280×720	4
1600×900	4
1920×1080	4
1920×1200	3
2560×1440	2

## 自動スリープモードの使用

このモニターは、自動スリープモードを設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合（初期設定では有効）、ホストコンピューターから低電力モードの信号（水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態）を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態（スリープモード）になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。ホストデバイスからアクティブな信号を受け取ると（ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など）、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。メニュー ボタンを押して OSD を表示し、**[電力コントロール]**→**[自動スリープモード]**→**[オフ]**の順に選択します。

# 3 サポートおよびトラブルシューティング

## 一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	電源コードが外れている	モニターの電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	主電源スイッチをオンの位置に設定します モニターの電源ボタンを押します <b>注記：</b> 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが接続されていない	ビデオケーブルを入力デバイスおよびモニターに接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください。詳しくは、 <a href="#">6ページのケーブルの接続</a> を参照してください
	システムがスリープモードになっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、スリープモードを終了します
	ビデオカードに互換性がない	ビデオカードを交換するか、コンピューターに搭載されているビデオソースにビデオケーブルを接続します
画像が暗すぎる	輝度設定が低すぎる	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて <b>[輝度]</b> を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
<b>[Input Signal Not Found]</b> というメッセージが画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
<b>[Input Signal Out Of Range]</b> というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳しくは <a href="#">27ページのプリセットディスプレイ解像度</a> を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターのスリープモードが無効になっている	OSDメニューを開き、 <b>[電力コントロール]</b> → <b>[自動スリープモード]</b> の順に選択して、自動スリープを <b>[オン]</b> に設定します
<b>[OSD Lockout]</b> と画面に表示される	モニターのOSDロックアウト機能が有効になっている	<b>メニュー</b> ボタンを10秒程度押し続けて、OSDのロックを解除します
<b>[Power Button Lockout]</b> と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします

## ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。

## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

## お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のよう な情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

## シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、モニター本体の底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。



## 4 モニターの保守

### 保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流 (AMPS または A) は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** モニター画面への「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気の良い場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにしてください。

### モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。

 **重要：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

**重要：** ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

## モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

# A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります

この製品の最新の仕様またはその他の仕様については、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニター モデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

## 24 インチ（対角長 61.1 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	24 インチ（61.1 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	61.1 cm / 24 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	7.2 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	50.3 cm
奥行き	21.4 cm
幅	53.2 cm
傾斜角度	-5 ~ +22°
回転角度	-45 ~ +45°
最大グラフィックス解像度	1920×1200（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1200（60 Hz）
環境条件 動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
動作時湿度	20 ~ 80%の相対湿度（結露なし）
非動作時湿度	5 ~ 95%の相対湿度（結露なし）
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
入力電流	1.6 A
入力端子	DisplayPort×1、HDMI 入力端子×1、DVI コネクタ×1、USB Type-C ポート×1

## 27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	27 インチ（68.5 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	68.5 cm / 27 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	8.0 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	50.9 cm
奥行き	21.4 cm
幅	61.3 cm
傾斜角度	-5 ~ +22°
回転角度	-45 ~ +45°
最大グラフィックス解像度	2560×1440（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	2560×1440（60 Hz）
環境条件 動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
動作時湿度	20 ~ 80%の相対湿度（結露なし）
非動作時湿度	5 ~ 95%の相対湿度（結露なし）
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
入力電流	1.6 A
入力端子	DisplayPort×1、HDMI 入力端子×1、DVI コネクタ×1、USB Type-C ポート×1

## プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

### 24 インチ（対角長 61.1 cm）モデル

 **重要:** お使いのモニターは一部のビデオモードで最大 75 Hz のリフレッシュレートをサポートできません。ただし、接続されている入力デバイスのビデオカードは 75 Hz の表示に対応している必要があります。推奨されるモードは 1920×1200（60 Hz）です。

プリセットディスプレイ解像度
640×480（60 Hz、75 Hz）
720×400（70 Hz）
800×600（60 Hz、75 Hz）
1024×768（60 Hz、75 Hz）
1280×720（60 Hz）
1280×800（60 Hz）
1280×1024（60 Hz、75 Hz）
1440×900（60 Hz）
1600×900（60 Hz）
1680×1050（60 Hz）
1920×1080（60 Hz）
1920×1200（60 Hz、75 Hz）

### 27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル

 **重要:** お使いのモニターは一部のビデオモードで最大 75 Hz のリフレッシュレートをサポートできません。ただし、接続されている入力デバイスのビデオカードは 75 Hz の表示に対応している必要があります。推奨されるモードは 2560×1440（60 Hz）です。

プリセットディスプレイ解像度
640×480（60 Hz、75 Hz）
720×400（70 Hz）
800×600（60 Hz、75 Hz）
1024×768（60 Hz、75 Hz）
1280×720（60 Hz）
1280×800（60 Hz）
1280×1024（60 Hz、75 Hz）

---

### プリセットディスプレイ解像度

---

1440×900 (60 Hz)

1600×900 (60 Hz)

1680×1050 (60 Hz)

1920×1080 (60 Hz)

1920×1200 (60 Hz)

2560×1440 (60 Hz、75 Hz)

---

## ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイメニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。

## 省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は0.5 Wです。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、省電力機能、パワーマネジメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターの省電力ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの省電力ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

---

## B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

### サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品の特定の支援技術製品について詳しくは HP のサポート窓口にお問い合わせください。

### HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html)（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。